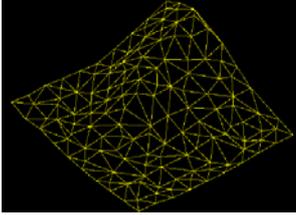


TINモデル

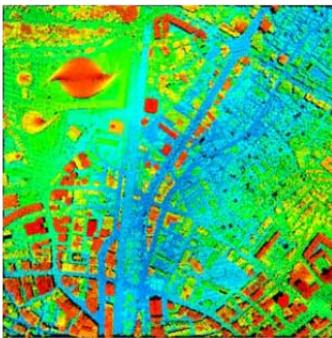
TINモデル：点群データを結線した不整三角網で構成した面の集合体



TINモデル(図解航空レーザ計測より)

オリジナルデータ

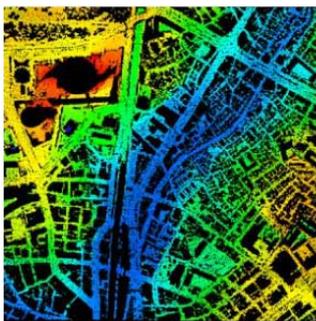
オリジナルデータ：LPによって計測された点群データからノイズを除去し、現地の基準点により標高を調整したデータ



オリジナルデータ(図解航空レーザ計測より)

グラウンドデータ

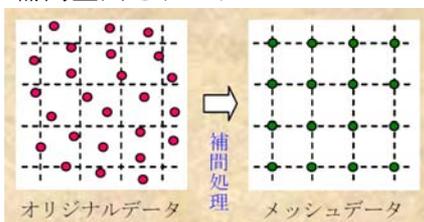
グラウンドデータ：オリジナルデータから地形を判読するのに不要な樹木や草本の点群を取り除いたデータ



グラウンドデータ(図解航空レーザ計測より)

メッシュデータ

メッシュデータ：格子状に補間整列されたデータ

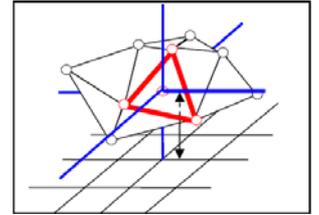
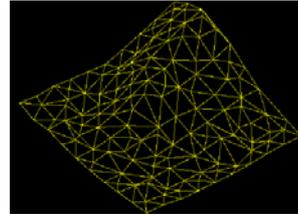


メッシュデータ(図解航空レーザ計測より)

メッシュサイズと0.5m (1.0m) メッシュデータ

メッシュサイズ：格子の1辺の長さ

0.5m (1.0m) メッシュデータ：メッシュサイズ0.5m (1.0m) のメッシュデータの格子毎に高さを保持したデータ。高さは、グラウンドデータから生成したTINモデルに対し、各格子の隅から下ろした垂線とTINモデルとの交点から取得

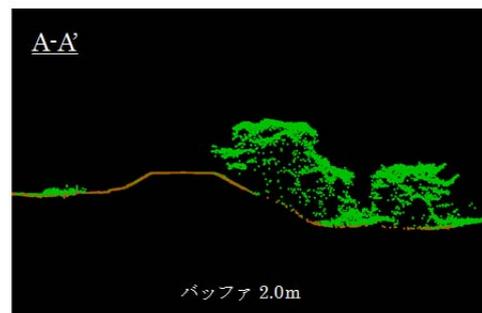
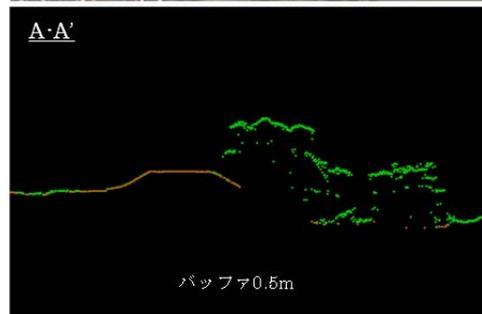
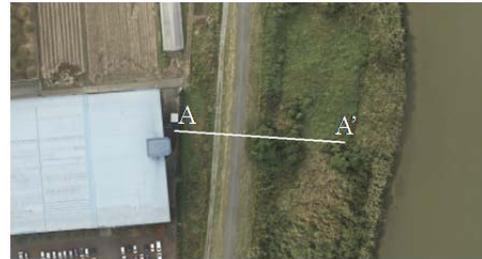


メッシュデータの高さ取得イメージ

(図解航空レーザ計測より)

バッファ法

バッファ法：ある横断線の垂直方向に幅を指定し、指定された幅の中に存在する点群を横断方向に投影して横断形状を明瞭にする方法



バッファ法を適用した横断面